

おやめRepo

みんなで創る しあわせに暮らせるまち 長井



vol.54

令和元年(2019年)8月号

発行／山形県長井市
問い合わせ／長井市総合政策課 tel.0238-87-0714
http://www.city.nagai.yamagata.jp

長井の地名は「水の集まるところ」に由来します。最上川と置賜白川、置賜野川がまちを囲むように流れ、長井ダムのダム湖「ながい百秋湖」の奥には三淵溪谷もあります。江戸時代には、最上川の恩恵を受けて舟運文化も花開きました。また市内には、豊富な河川水を生活用として利用するために整備された水路網が現在も残されており、初夏から初秋にかけて白く愛らしい梅花藻が咲く水路も数多くあります。

長井市の水道水は、朝日山系の山々の地下水が利用されています。水質は超軟水のため身体にやさしく、赤ちゃんが飲んでも安心です。シテイコンセプト「天然水100%の子育てライフ」ながいが表す通り、水に恵まれた暮らしや文化が「水のまち長井」ならではの大きな魅力となっています。

長井の水

水のまち長井

水を生かしたまちづくりを紹介

卵の花姫の涙

長井の天然水をペットボトルにした「卵の花姫の涙」。ふるさと納税のお礼の品の1つにもなっており、長井の水の魅力を伝えています。

CONTENTS

- 水のまち長井 水を生かしたまちづくりを紹介
- 河川敷を憩いの場に、最上川河川緑地整備 白川河川緑地整備
- 新しい長井の魅力発見！フラットバス、かわまち大賞へ
- 「かわまち大賞」に認定！
- 重要な文化的景観を生かしたまち歩き
- 今年もやります！ 長井ダムで楽しむウォーターレジャー

NAGAI
TENNENSUI
100%

水をまちの魅力にした「かわまちづくり」

私達が普段あたり前に使っている水も、外から見ればすばらしい資源であり、長井の魅力の一つになっています。長井市では最上川、舟運文化、まちなかの歴史的な建物などの資源と観光を連携させた「かわまちづくり」を進めています。フラットバスなどソフト面の整備と、道の駅や最上川河川緑地といったハード面の整備を進めることで、さらなる観光交流人口の増大を図っていきます。

今の観光客のニーズは多岐に渡っており、まちを歩いてその地域にしかない自然、歴史や文化、食など、地域の暮らしや雰囲気を感じて楽しむことへのニーズが高まっています。長井の魅力を発信し、体験していただくため、観光ワンストップ窓口の機能を持つ「やまがた長井観光局」が平成28年度に開設されました。そして平成31年4月からは、南陽市・白鷹町・飯豊町とともに地域連携DMO組織「一般社団法人やまがたアルカディア観光局」が稼働。新たな組織として生まれ変わりました。地域が潤う観光を目指し、道の駅川のみと長井を拠点とし、長井をはじめとするアルカディア地域の観光地域づくりの舵取り役を担っていきます。

長井市では水にまつわる祭りやイベントも多く開催されています。



今年もやります!

長井ダムで楽しむ ウォーターレジャー



長井ダムを生かしたウォーターレジャーが続々登場!! 市外・県外からも注目されています。
「みずのまち長井」ならではの体験をぜひご体感ください!

夏 水陸両用バス in 長井ダム百秋湖

夏のながい百秋湖を遊覧! 地元ガイドによる長井市の歴史や水陸両用バスについての案内付です。乗車記念の「特製缶バッジ」も限定販売中です。

◎運行日/5月31日(金)～8月25日(日)

◎運行時刻(各便約75分) ※三淵溪谷へは行きません。

【1便】9:30～ 【2便】11:15～ 【3便】13:30～ 【4便】15:15～

◎料金/大人2,500円(中学生以上) 小人1,500円(3歳～小学生)

※2歳以下無料(座席はございませんので、保護者の膝の上になります)

◎申込先/(一社)やまがたアルカディア観光局 ☎0238(88)1831

※電話にてお申し込みください。先着順にて承ります。座席は前から申込順となります。

※天候、水位、交通事情、車両整備などで運行時刻や運行時間を変更する場合がございます。

※当日の天候などにより予告なく運休となる場合がございます。

※水陸両用バスには窓ガラスがないため、雨天時は「雨具」の着用をお願いします。



水に入る瞬間の水しぶきは迫力満点! 緑の中を進んでいきます。
ガイドの案内と雄大な景色を楽しめます。

大好評につき
8月も運行します!

8月の運行カレンダー

○:運行日

日	月	火	水	木	金	土
				8/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

秋 屋形船 長井ダム百秋湖

紅葉に包まれたながい百秋湖を、遊覧船に乗ってゆっくり楽しむことができます。
湖面に映える美しい紅葉を眺めながら三淵溪谷入口まで巡ります。

◎運航日/10月上旬～11月初旬

◎運航時刻(各便約45分) ※現時点での予定です。

【1便】9:40～ 【2便】10:40～ 【3便】11:40～

【4便】13:15～ 【5便】14:15～ 【6便】15:15～

◎基本運航料金 ※現時点での予定です。

大人1,500円(中学生以上)、小人1,000円(3歳～小学生)

◎申込先/(一社)やまがたアルカディア観光局 ☎0238(88)1831 ※電話にてお申し込みください。



美しい紅葉の中を進み、ゆったりとした時間を過ごすことができます。同窓会や町内会など団体での利用があれば1便貸し切ることできます。ご利用の際はご相談ください。

初夏～秋 絶景・三淵溪谷通り抜け参拝

卵の花姫伝説の舞台となった神秘的な雰囲気にも包まれた「三淵溪谷」。高さ50mを超える断崖絶壁が約250m続きます。溪谷の中は迫りくる断崖に圧倒され、水が滴る岩肌を間近に感じながらボートで断崖絶壁の間を通り抜けます。

◎運航日/4月下旬～11月中旬の主に金・土・日・祝日(詳細は公式HPでご確認ください)

◎運航時刻(各便約60分)

【1便】10:00～ 【2便】11:20～ 【3便】13:00～ 【4便】14:20～

◎参加協力金/大人2,000円(中学生以上) 小人1,500円(小学生以下)

◎申込先/最上川リバーツーリズムネットワーク ☎0238(87)0605 ※電話にてお申し込みください。

◎ホームページ/https://manabikan.wixsite.com/boat





【みずのは小路】
「みずは」とは水の神様のこと。長井には水の神様の使者である黒獅子の舞を奉納する祭りや、水にまつわる物語をたどる楽しみもあります。



「フットパス」とは、イギリス発祥の「歩くこと（Foot）」を楽しむための小路（Path）です。自然やまちなかをゆっくり歩くことで、その地域の魅力を感じることができます。

観光ボランティアガイド「ながい黒獅子の里案内人」のガイドでまち歩きを楽しむことができます。ガイドを行った人数は平成23年度から増加し続け、平成29年度には9千人を突破しました。ガイドが長井の特徴である「かわ」と「まち」をつなげ、観光交流人口を増やすことにもつながっています。

新しい長井の魅力発見フットパス かわからまちへ、まちからかわへ

地元の人々も楽しめる！
ながいフットパスウォーク

フットパスウォークは、平成24年度から行われており、「ながい黒獅子の里案内人」による解説を聞きながら、2〜3時間かけてまちなかを巡ります。普段は通り過ぎてしまうような場所でも、歴史や自然の解説を聞きながら歩くことで、新しい発見と愛着が生まれます。景色を楽しみながらのウォーキングは健康づくりにもぴったりです。



コンセプト

- 「最上川舟運時代の港町として歩んだ商工業都市の歴史・自然にふれあう空間づくり」
- 「かわとまちをつなぐ堤防階段」
- 「当時栄えた舟着場をイメージした舟通し水路」
- 「歴史案内看板などの整備」
- 「フットパスガイドマップの発行」



平成30年12月20日、国土交通大臣より市長に認定証が授与されました。

「かわまちづくり」

水辺の利活用で地域活性化を推進することを目的に、市や地元住民、民間企業が地域資源や知恵を生かした取り組み。平成21年度にこれらの取り組みを河川管理者が支援する制度が創設され、現在、全国191カ所が登録され各地域で取り組みが行われています。



約1200年前に創建された県内屈指の大社、総宮社は黒獅子発祥の地。



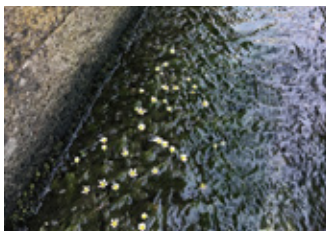
現存する旧郡役所では、県内で1番古い建物。



国登録有形文化財の建物。現在も使われています。



水路の水を引き込んだ櫛洗いの場のある山一醬油店。



梅花藻が咲く水路を見学。



利水でも珍しい大樋川と野呂川の立体交差の水路。



重要文化的景観を生かしたまち歩き

平成30年2月に、最上川西岸の街道に沿って商家群などが点在する中央地区の一部が、江戸時代の最上川舟運に由来する文化的景観として重要であると判断され、国の重要文化的景観に選定されました。

フットパスウォークでは、これらの風景や建物を巡ることができます。



最上川をより身近に感じてもらえるような場として、また最上川舟運文化や川とまちのつながりを知るきっかけになるような場として、小出の最上川左岸河川敷の整備を進めています。

場所：道の駅川のみなと長井とタスビルの間の河川敷で、完成後は芋煮会や軽スポーツ、散策などを楽しめる場になります。道の駅の利用者呼び込むことでにぎわい創出につなげていきます。

平成30年度事業として進められていた多目的広場などが完成し、6月22日の長井黒べこまつりの会場となりました。その他の施設も今年度中の完成、来春からの本格活用を予定しています。

▼長井黒べこまつりのようす



緑地広場

自由に散策したり、軽スポーツやイベントなどにも活用しやすい緑地の広場。



公園

小出舟着場跡の石碑周辺。舟運文化のなごりや川とまちのつながりを感じられる憩いの場。



多目的広場

芋煮会やバーベキューが楽しめるように水場も設置。



多目的グラウンド

フットサルやゲートボールなど、様々な年代の人が軽スポーツをしたり交流できる場。



駐車場

河川敷に集める人以外にもまちなかのイベントやフットパスに参加する人も使いやすい駐車場。



白川河川緑地整備

置賜白川河川敷でも令和5年度完成を目指して緑地の整備を進めています。

置賜白川周辺では、現在でも自然学習やフットパス、地域の運動会などが開催されていたり、地元住民がビューポイントに桜を植樹するなどの取り組みが行われています。グラウンドや緑地などを追加整備することで訪れる人を増やし、地域の一層の活性化を目指します。

